横浜遠征☆

9月26日～29日の間、今年が第1回目となった、「ラーメン屋業展2006」へ行ってきました。

どういったものかというと、全国の各都道府県から、ラーメン屋さんやそれに関わる業者さん（麺、食肉、醤油などの調味料、etc）、コンサル会社の方などが集まり、各業者さんは、自分のところの商品をブースに展示して、試食をしたり、コンサル会社の方はセミナーを開いたり、有名ラーメン店の方同士での対談があったりでした。

僕はというと、初日にあった有名ラーメン店同士の対談に行きました。話に来られたのは、TVの「ガチンコ」で一躍有名になったラーメンの鬼、佐野さん（支那そば屋）、TVの「どっちの料理ショー」でバトルを繰りひろげた、「なトつっ亀」古谷さん、「せたが屋」前島さん、「九段斑鳩」坂井さんの4名の方達で、僕としては、業界の超BIGな方々ばかりでびっくりでした。

話もとても熱く、濃く、最高の刺激でした！

特に、佐野さんに直々に言われた言葉、

「売れるラーメンとかじゃなくて、お前が本当に美味い！と思うお前だけのラーメンを作れ!!（怒）」

しっかり胸に刻んできました。行ってよかった!!

～one of NEWSPAPER～ パパパパパレード-Parade

H18-10-16(月)

ラーメンの「夢」について。

オープン当初から、Paradeのラーメンは「プロローグ」、「第1章」、「第2章」、「第3章」、「第4章」、「第5章」となっていたワけですが、なぜそのような事を始めたのか。今回はそれについて、少し語らせてもらいます。おそらく、皆さんもある程度、感付かれている通り、日（前より）美味しく、更に美味しくなる日と思ってのことは、もちろんあります。やはり作り手として、その気持ちは常に持ち続けていきます。ただ、そこで、その変遷、気持ちをお客様にも分かっていただけると嬉しいなと思い、そのための表現方法として、「夢」という表現を選びました。

かつ、もうひとつの意味もあります。たまにですが、「あの店、昔はうまかったけど、最近は味が落ちた。」というのは、店側での味・質の管理だけの問題ではなく、実際は、時代の流れや、食生活の変化などの、外部的な要因も大きいと思います。店がそれを理由にしてしまえば、本当のところ、お客様に書いてもらうというお店もあるかもしれません。

大切な役割を果たしてくれていると思います。お店がそれを忘れないよう、自分を戒めるためにも、よって、「夢」をつけました。

夢Paradeのラーメンは永遠に完成である日、そこでガンバります！

はい！クイズ☆

Q. 九月になると、骨だけになってしまう人は？

ヒント：